

# 県民ニーズを効果的に県政へ

自民党県議会議員 土井りょうすけ



## 土井りょうすけ

1959年5月7日生まれ（55歳）

衆議院議員 小泉純一郎秘書を経て  
平成11年より神奈川県議会議員（4期）

- 議会運営委員会・総務政策常任委員会
- ヘルスケア・ニューフロンティア  
政策調査特別委員会（委員長）

豈戸 2663-7F ☎044-911-5200

震から命を守るために、治水は県政の大きな役割です。特に商店街の活性化は欠かせません。国の税制改正で地元の商店街でも免税販売が出来るようになります。

対策や急傾斜地の対策を効果的に進めていきます。県民の体感治安を高めるためにも防犯カメラの設置を進

県政を担う立場として、自然災害対策では豪雨や地震から命を守るため、治水は県政の大きな役割です。特に商店街の活性化は欠かせません。国の税制改正で地元の商店街でも免税販売が出来るようになります。

め、振り込め詐欺対策では注意喚起を図る取組を推進していきます。

そして「まちの活性化」が出来るようになります。

県民の皆さんに求められている一つが「安全安心」です。自然災害対策では豪雨や地震から命を守るために、治水は県政の大きな役割です。特に商店街の活性化は欠かせません。国の税制改正で地元の商店街でも免税販売が出来るようになります。

対策や急傾斜地の対策を効果的に進めていきます。県民の体感治安を高めるためにも防犯カメラの設置を進

す。脳を鍛えて認知症を予防する運動「コグニサイズ」の周知を図るのも一つの手です。12月の県議会で手話言語条例を可決・成立しました。手話への理解を深めるとともに、視覚障害者のための点字の普及、広報にも取り組んでいきます。

環境面の対策では、地球温暖化対策として二酸化炭素の排出削減に取り組まなければなりません。そこで注目されているのが水素自動車（燃料電池自動車）です。購入補助や周知を図り、普及を進めていきます。

また、この超高齢社会において福祉施策は大きな課題です。在宅医療を提供する体制づくりを進め、認知症の予防施策にも取り組んでいま

められています。